

議員出前講座 生徒感想



【大分県立佐伯豊南高等学校】

◆平成30年2月14日（水）

◆2年生 12人

◆派遣議員：御手洗議員、桑原議員

- 将来県外に出て働きたいと思っていましたが、今日、議員さんの話を聞いて、絶対に大分県に残って働こうと思いました。
- 議員さんは、遠い存在のように思っていたのですが、私たち県民の近くにいろいろな事をしてくれていることが分かりました。
- 今日の話思い出しながら、来年度の『政治・経済』を学び、将来どうすれば自分が社会に役立つのか考えたいと思います。
- 佐伯、大分、日本の将来のことをよく考え責任を持って、投票という形で政治に参加したいと思います。
- 来年から選挙権を持つということを自覚し、もっと政治や経済について理解を深めていきたいです。
- 議員さんが、丁寧に県民に寄り添い、さらに大分県をよりよくしたいという気持ちを感じました。高校生である私達に何ができるかと深く考え、地域に貢献できる人になりたいと思いました。
- 議員さんは、いろいろな場面で活動していて休む暇もないくらい大変なんだなと思いました。
- 県議会の役割や議員の活動、請願と陳情の違いを理解することができました。また、政治が身近な生活に役立っていることが分かりました。



【桑原議員】



【御手洗議員】

- これからの佐伯市、大分県を盛り上げていくためにも私たち高校生の力で何かできたら嬉しいです。
- 普段なかなか聞くことのできない話をたくさん聞いて貴重な経験になりました。
- 議員は、とても責任の重い仕事だなと思いました。また応援してくれている方々のためがんばっているのだなと感じました。
- もともと政治に興味があったので楽しみにしていました。今まで何をしているか知らなかったけれど、議論だけでなく、災害の視察に行ったりしているのだと知りました。

